



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/

学校だより 11月号
令和2年11月2日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

柔軟性と創造力

校長 松永 淳子

小春日和の穏やかな日が続き、日一日と秋が深まっていくのが感じられます。

校庭にはどんぐりの実が落ちていたり、柿の木に鮮やかなオレンジ色の実がなり、小鳥がついばんだりしています。

子どもたちにとっては、集中して学習に取り組める気持ちのよい頃となりました。校庭で体育をしている児童は、生き生きとそして伸びやかに運動に親しんでいるように見えます。鉄棒、ハードル走、高跳びなど、どの種目にも全力で取り組む子どもたちの姿は、見ていて気持ちのよいものです。

さて、10月16日（金）に行われた、4年生と5年生の愛川体験学習を皮切りに10月22日（木）には2年生が児童遊園地に、27日（火）には3年生が保土ヶ谷宿場巡りに、30日（金）には6年生が箱根、小田原、鎌倉への修学旅行に出かけました。11月は、1年生が児童遊園地に出かける予定です。今年はコロナ禍のため、校外学習の実施の仕方を変更しました。子どもたちはイメージしていた活動が実施されず、がっかりしたのではないかと心配しました。しかし、この状況に柔軟に対応し、今年の活動を楽しんでいる様子も伝わってきました。その様子を少しだけお伝えいたします。

5年生と共に出かけた愛川体験学習では、バスの中でテレビの画面が目の前に降りてきたかと思うとその画面に5年生の児童が大きく映し出され、愛川についての質問がゲーム形式で始まりました。バスの中でその画面を見ている子どもたちは、質問に挙手をして静かに答えていました。6年生の修学旅行でも同じようなことを子どもたちが考え実施していました。事前にタブレットに内容を撮影しておき、当日はそれを見ながらハンドサインや拍手、事前に用意した○・×のカードなどを使って答えていました。例年ならマイクを回し、元気に歌を歌い、ゲーム大会に盛り上がり夢中になるところですが、今年はバスの中でも三密を避け、飛沫感染に気を付けながら出かけたため、このようなことを子どもたちが考え実行しました。

その他の場面でも工夫が見られます。今年度朝会はテレビ放送で実施しているのですが、手の洗い方を紹介するビデオを子どもたちが作成、編集し全校に流すなど今年の朝会の特徴を捉えた方法を考え出しています。全校集会活動では、担当の児童がテレビの画面を通して問題を出し、見ているみんながその問題に答えていました。各教室で繰り広げられている様子を見ているとルールを守りながらも楽しんでいる様子が伝わってきました。全校で集まるのが難しければ、テレビやタブレットを活用し、みんなが楽しめる活動を創り出していく力に感心しました。

子どもたちの発想は豊かで柔らかく無限の可能性を感じます。創造力たくましく頼りになります。次から次へと創造し何かを生み出していく力を子どもたちは獲得しているようです。この時を乗り越えることができれば、これから先、何があっても確かな知恵と行動力を身に付け、活動していくことができるのではないかと子どもたちの様子を見ていて感じます。子どもたちの力を信じ、今月も元気に登校できるよう健康安全に気を付けながら学校生活を送れるようにしていきたいと考えております。保護者や地域の皆様もご協力よろしくお願いたします。